

はじめに

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることなどを目的として行われております。

札幌市において、本調査は平成 19 年度からの開始以来実施し、分析と改善の方向性等についてもその都度公表してきており、本年 4 月に実施された平成 22 年度調査につきましても、全国的な状況との関係において教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図ることなどの観点から、教育委員会指導室において分析し、本市の調査結果から明らかとなった課題や改善の方向等を、9 月に「札幌市の調査結果の概要」として公表いたしました。その後、各領域や設問ごとに、全国の平均正答率との比較や解答類型及び無解答率の検討など詳細な分析を行い、このたび指導方法の改善の方向等について本実施報告書にまとめました。

教科に関する調査の結果を見ると、算数における「量と測定」「数量関係」など、一部の教科や領域・設問において、全国と比較して下回っているものが見られるものの、全国平均を上回っている領域が各教科にわたって見られております。

また、児童生徒質問紙調査では、小中学校ともに、1 日のうちの読書時間について、「全くしない」という回答が平成 19 年度の調査以来年々減少しているなど、改善が見られている一方で、「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」という設問において、「全くしない」という回答が全国に比べて多いなどの課題が見られております。

各学校におかれましては、「札幌市学校改善支援プラン」（平成 20 年 3 月）や「平成 20 年度札幌市学習実現状況調査実施報告書」（平成 21 年 10 月）と併せて、本実施報告書を積極的に活用して、子どもたちの学習意欲を高め、自ら学び、自ら考える力などの生きる力を育成するために、日々の指導方法等のより一層の充実・改善を進めるようお願いします。

札幌市教育委員会

教育長 北原 敬文